

調査方法

調査種別	目的	調査用紙の配布方法	調査内容	回答数等
実態調査 (令和元年9月～12月)	どこに、どのような医療的ケア児がいるかを把握するため	下記を通じて手渡し 1.市内医療機関 2.市外医療機関（了解いただけた機関） 3.患者把握のため、市各課、教育委員会、特別支援学校、保健所等関係機関 4.健康推進課保健師	本人の基本情報 (氏名、生年月日、性別、住所、疾患、障害種別・等級、家族構成等)	25人
ニーズ調査 (令和元年11月～令和2年5月)	医療的ケア児やその家族のニーズを把握するため	実態調査で確認できた医療的ケア児がいるすべての家庭（25世帯）に郵送又は手渡し	本人と家族の詳しい情報（家族の不安、サービス利用状況、本人の教育・保育状況等）	21/25人 (回答率84%)
事業所等調査 (令和元年9月～12月)	事業所等の医療的ケアの実施状況や、実施に伴う課題等を把握するため	下記に郵送もしくはメール 1.市内全ての居宅介護事業所 2.市内全ての児童発達支援事業所 3.市内全ての放課後等デイサービス事業所 4.市内全ての短期入所事業所 5.市内全ての訪問看護ステーション 6.医療的ケア児を受入れている市内の保育所・小学校 7.実態調査で利用記入のあった市外機関	事業所等の医療的ケアにかかわる情報 (医療的ケア児へのサービスの提供状況、看護師や介護職員による医療的ケアの実施状況、今後の実施の意向、実施に伴う問題等)	74/92事業所 (回答率80.4%)